

# 大山駅駅前広場などのデザイン検討ワークショップ 第3回ワークショップを開催しました！

1/17 (土)  
14:00~16:00  
@板橋区役所 2階  
人材育成センター

■お問合せ先  
板橋区役所 まちづくり推進室  
鉄道立体化推進課 大山駅前広場整備係  
TEL : 03-3579-2587  
FAX : 03-3579-5437  
MAIL : railway@city.itabashi.tokyo.jp

大山らしい未来の"ひろば"を考える / ニュースレター  
**NEWS LETTER 03**

現在、複数の整備事業が進む大山駅周辺で、大山らしい駅前広場等の空間デザインを検討するために、地域のみなさまとの議論を重ね決めていく全3回のワークショップを開催いたしました。

第1・2回に続き開催した第3回では、前回の議論を反映した「デザイン案」の共有に加え、実際に作成した模型を囲んで広場のスケール感などを確認しました。その上で、デザイン案に対し「やってみたいコト」や「あったらいい機能」について具体的な意見を出し合い、大山らしい広場の実現に向けたデザインの方向性の確認と内容をさらに掘り下げる議論を行いました！



■これまでのワークショップの意見を踏まえ作成したデザイン案について、使い方や機能について議論しました。



■デザイン案の模型を囲みながら、周辺との関係性など具体的な広場のスケール感を確認しました。



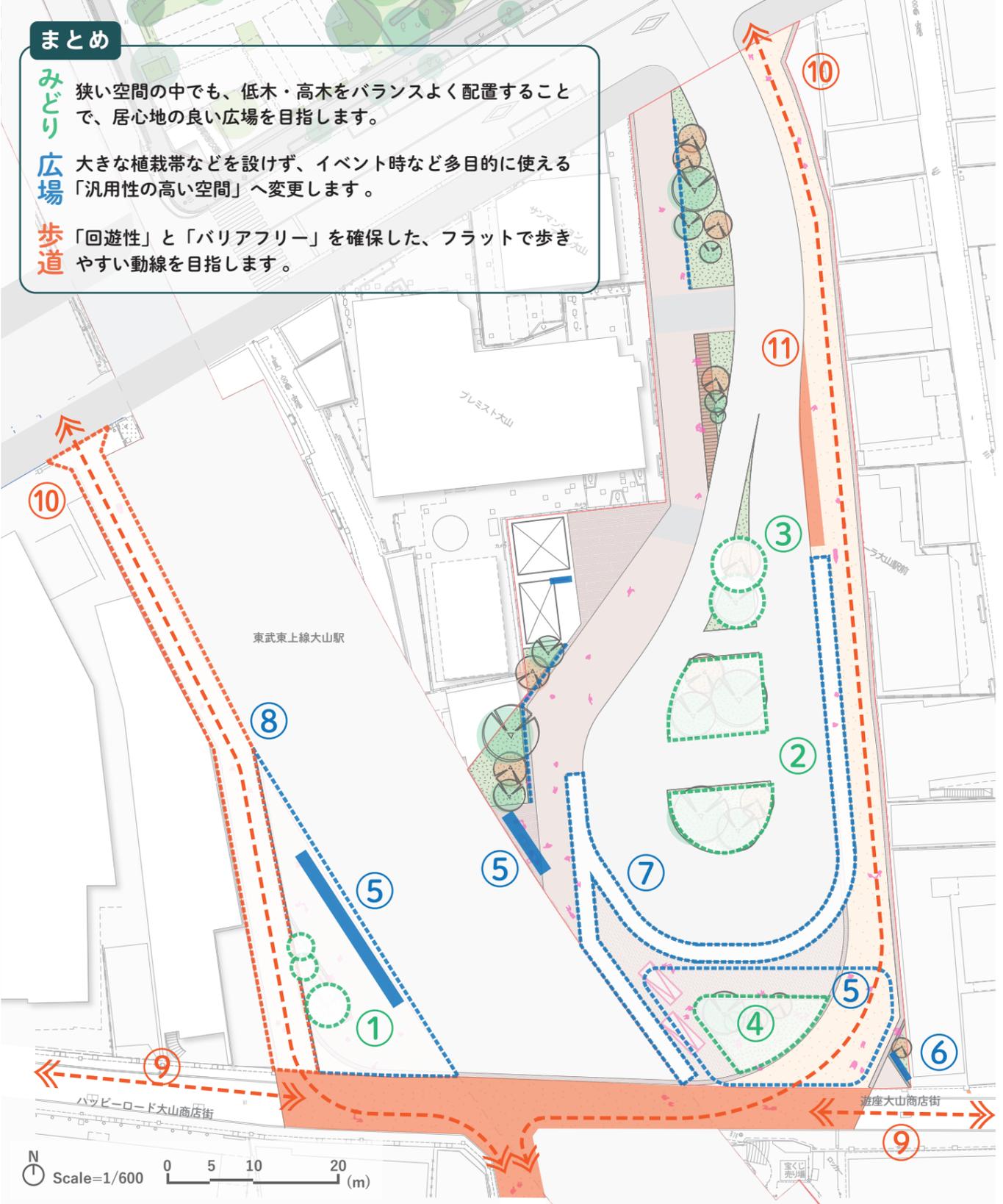
■合計3回のワークショップを、住民の皆さんと共に無事に開催することができました！

## ワークショップ内で挙がった意見まとめ (抜粋)

- ① **みどり：視線と空間の印象**  
周辺建築や高架によって日が当たらない時間帯もあるためその環境下に耐えられる樹木を選ぶべき。また高すぎると視線を遮ることになるので、その点も留意していただきたい。  
→視線を遮らない高さの草木や花壇で緑量を確保する。
- ② **みどり：交通島（ロータリー内）でのみどり**  
交通島の植栽はイベント活用等を考えると高木ではない方が良い  
→イベント時にやぐら等の設備が組めるよう配置や樹種を検討する。
- ③ **みどり：シンボルツリーの位置**  
シンボルツリーを置くなら交通島が望ましい  
→広場全体でのイベント利用を前提にシンボルツリー配置を検討する。
- ④ **みどり：芝生マウントの有無**  
これまでの議論と広場中央にある「芝生マウント」が適していない  
→ラジオ体操やマルシェができる「広くてフラットな空間」にする。
- ⑤ **広場：ファニチャーのあり方**  
固定物で空間を埋めてしまうと可変性がなくなる  
→可動式什器や植栽を採用し、イベント時に移動できるようにする。
- ⑥ **広場：防災機能の確保**  
避難場所が駅から遠いので、駅前広場でも防災対応ができようになりたい。  
→防災機能を果たすための空間や設備を検討する。
- ⑦ **広場：シェルター（屋根）の形態**  
駅前広場とロータリーを一体利用できるようにするべき  
→雨天時等の利便性や広場の使い方を踏まえてデザインを再検討する。
- ⑧ **広場：若者利用の促進**  
若者も集まって過ごせるような空間になって欲しい  
→運用ルールも含め、駅前広場等の使い方を検討する。
- ⑨ **歩道：商店街を含めた回遊性の確保**  
広場だけでなく、二つの商店街が一体になるようにしたい  
→前面区道を活用し、2つの商店街をつなぐ回遊性の高い動線とする。
- ⑩ **歩道：バリアフリーを軸にした整備**  
健康長寿医療センターへ向う道には段差があり、使いにくい部分がある。  
→駅前広場等の動線部分はバリアフリーを取り入れた空間とし、歩行のしやすさを確保する。
- ⑪ **歩道：ボードデッキ（滞留空間）の確保**  
駅前広場東側の歩道は健康長寿医療センターへの動線として利用されることが見込まれるため、休憩スペースなどを設けてもよさそう。  
→通院途中で一休みできる滞留空間を確保する。

## 駅前広場＋鉄道附属街路第6号のデザインプラン

※ワークショップでの皆様の意見やウォークアブルなまちづくり等の近年の社会情勢を踏まえ、人が滞留できる空間を拡大する案を作成し、議論しました。  
※ロータリーの検討にあたっては、今後も継続的に関係機関との協議や法令等を整理する必要があります。  
※本デザイン案は検討中のものであり、今後の検討によって変更になる場合があります。



**まとめ**

**みどり** 狭い空間の中でも、低木・高木をバランスよく配置することで、居心地の良い広場を目指します。

**広場** 大きな植栽帯などを設けず、イベント時など多目的に使える「汎用性の高い空間」へ変更します。

**歩道** 「回遊性」と「バリアフリー」を確保した、フラットで歩きやすい動線を目指します。